

講 師：広島市立安佐市民病院 小児科 副部長 網本 裕子 先生

実施日時：平成 29 年 1 月 28 日（土） 13：30～16：00

会 場：西区民文化センター 大会議室 ABC

対 象 者：保育・教育関係者

参 加 者：64 名（保育士 18 名、教諭 3 名、養護教諭 23 名、看護師 12 名、医師 1 名

保護者 3 名、栄養士・調理師 3 名、その他 1 名）

担当：広島市

○講演内容

①こどもの気管支喘息

定義・診断・症状・検査・治療・発作時の対応など

②食物アレルギー

定義・メカニズム・アレルゲン食品・タイプ

③食物アレルギーを診断するために

原因アレルゲンの推定・IgE 抗体の証明・食物経口負荷試験

④院外におけるアレルギー症状出現時の対応

エピペン操作方法



○アンケート結果より

<参加のきっかけ>

「食物アレルギー・喘息をお持ちのお子さんが在籍しているため、来年度エピペンを処方されているお子さんが入学するため」「アレルギーのあるお子さんが近年増加しており、対応が不安なため」「養護教諭の職務の一つとして知識を得たかったため」

<参加された方の感想>

「エピペンの使い方が理解できて本当に良かった」「分かりやすく学校での対応が理解できた」

「自分では判断しづらいことがあるので、このような研修にもっと参加したい」

「質問にも丁寧に答えていただき疑問が解決しました」

○相談員より一言

広島市で保育・教育関係者を対象とした研修会を開催しました。喘息と近年増加傾向と言われるアレルギーについて種類や診断、治療、学校生活の支援などについてお話いただきました。

参加者に実際に手にとってもらったエピペン（ショックを防ぐための補助治療剤）の操作方法の説明もあり、有意義だったとの感想をたくさん頂きました。

後半の質疑応答時も活発に質問があり、参加者の関心の高さが伺えました。今後も保育・教育現場の皆様にも病弱児の理解を深めていただくため、専門医による研修会を開催したいと思います。

